

地方公共団体における人権教育事業の実施状況に関する調査研究
事例調査票

様式2

(財)人権教育啓発推進センター

実施自治体・担当課（連絡先）	福井県美浜町教育委員会 電話： 0770-32-6709
----------------	---------------------------------

1. 概要

事業名	2004人権のつどい トーク&コンサート～ありがとうのち～
主催（共催）	美浜町人権尊重啓発協議会
実施年月日・実績等 *回数・参加人数・作成部数等	実施年月日：2004年12月4日（土） 人権週間 参加人数：200人
開催場所	美浜町中央公民館 ホール
対象	一般町民
人権課題	人権一般、生命、外国人

2. 事業内容

(1)事業の目的 ・文化、芸術を通して、身近な人権問題について考える。
--

(2)事業概要

・李政美(イ・チョンミ)氏は、東京・葛飾生まれの在日コリアン2世のシンガーソングライター。在日コリアン2世として、日本で生まれ育ってきた幾重の思いを歌ったり、ルーツである朝鮮民謡を日本語に翻訳し新しいアレンジで歌うなど、しなやかながらも平和・人権に関わる自らの意志を訴え続ける活動をしている。また、自らが在日コリアン3世の母親としての立場から「次の世代を担う人々には、差別の無い明るく輝く未来を手渡したい」と活動を続けている。

・会場受付付近において、人権擁護委員、美浜町人権尊重啓発協議会役員らにより啓発物品を参加者に配布した。

・会場ホール内には、小中高校生・一般から募集した人権作品(ポスター、写真)の入賞作品を展示した。

・広報については、ケーブルテレビ、チラシの各戸配布、町広報誌、地元新聞・テレビ等をとおして行った。

(2)-1 連携状況

(2)-2 特色・工夫した点(広報の方法も含む)

・いろいろな年代の方が参加しやすいよう内容とした。

・会場受付付近において、人権週間の啓発物品を参加者に配布した。

(3)参加者の反応・事業の反響等

・コンサート終了後にアンケートを実施したところ、「さまざまな歌や民族楽器を楽しみながら、命の尊さ、在日韓国人への理解を深めることができた。」「生きていくことに勇気をもらった。」などの感想があった。

(3)-1 反省点・今後の課題

・次年度に向けて、ポスターの掲載ヶ所を増やしたり、事業所・施設などへのちらしの設置を広報について、強化したい。

・人権のつどいの中に何らかの方法で町民が参加する場面を考えたい。